

RACING PROGRAM

東京競馬場・京都競馬場・新潟競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.10.19

富士ステークス[GII]



未来へ、走り続ける。



菊花賞 キセキ

JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

前日発売

菊花賞[GII]

第85回菊花賞(GI)

3000m(芝・右・外)Aコース使用

発走15時40分

このカラー版出馬表の内容は10月18日12時00分現在のもので、その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing race details: 枠番 (Saddle Number), 馬番 (Horse Number), 父馬名 (Sire Name), プレレーティング (Pre-Listing), 顔写真 (Photo), 勝負服 (Silks), 性別 (Sex), 騎手名 (Jockey Name), 馬主名 (Owner Name), 調教師名 (Trainer Name), 過去3走成績 (Past 3 Race Results), 前走成績 (Previous Race Result), 出走回数 (Number of Races).

*プレレーティングは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となります。レーティングの詳細につきましては本誌中に掲載しております。

キセキ

17,575票



大荒れの菊を制した奇跡の走り

菊花賞の長い歴史で、不良馬場は3度しかない。台風が接近し横殴りの雨が降りしきる中、恐らくはレース史上最もぬかるんだ馬場で行われたともいわれる2017年の菊花賞を制したのが、キセキだった。

香港のクイーンエリザベス二世Cを制したルーラーシップの初年度産駒として生まれたキセキは、2歳暮れの新馬戦を圧勝するも、3歳春はセントポリア賞5着、すみれS3着、毎日杯もアルアインの3着と賞金を加算できず、クラシック戦線には乗れなかった。しかし夏に条件戦を連勝すると、神戸新聞杯でも日本ダービー馬レイデオロの2着に追い込んで菊花賞の優先出走権を獲得。ついにクラシック出走が叶ったのだった。

この年の菊花賞は、レイデオロが次走をジャパンカップに定めて回避。スワーヴリチャードも秋の始動が遅れ、アドミラブルは脚部不安と、日本ダービーの1~3着馬がすべて不在で行われることとなった。

レースは、泥田のような馬場にスタミナを奪われた各馬が次々と脱落していく消耗戦に。逃げたマイスタイルは3コーナー手前で力尽き、結局大差のしんがり負け。直線ではダンビュライトとクリンチャーが前に出て、これをポポカテペトル、ミッキースワローが懸命に追う。その大外から迫っていったのがキセキだった。

後方から外を回って上昇したキセキは、競り合う各馬を力強く交わし、最後は2馬身突き抜けてゴール。自身は1番人気だったが、2着クリンチャーは10番人気、3着ポポカテペトルは13番人気で、3連単の55万9700円は今も残るレース史上最高配当。天候も馬場も、そして結果までもが歴史に残る大荒れの菊花賞となった。

キセキはその後も7歳まで活躍。2018年ジャパンカップは果敢な逃げでアーモンドアイの2着、2020年宝塚記念では一気の捲りでクロノジェネシスの2着など数々の印象的な走りで沸かせたが、勝利はこの菊花賞が最後。とびきりの個性派の、まさに「代表作」と呼べるレースだった。

第78回 菊花賞 (GI)

2017年10月22日 京都競馬場 3000m(芝・右・外) 雨・不良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	キセキ	牡3	57	M.デムーロ	角居 勝彦	3:18.9	①	14 14 12 7
2	クリンチャー	牡3	57	藤岡 佑介	宮本 博	2	⑩	11 11 7 2
3	ポポカテペトル	牡3	57	和田 竜二	友道 康夫	ハナ	③	9 7 7 3
4	マイネルヴンシュ	牡3	57	柴田 大知	水野 貴広	1 1/2	⑪	15 15 13 7
5	ダンビュライト	牡3	57	武 豊	音無 秀孝	1	④	7 7 3 1

キセキ Kiseki

2014年5月13日生 牡 黒鹿毛

父:ルーラーシップ 母:ブリッツフィナーレ 母の父:ディーブインパクト
生産:日高・下河辺牧場 馬主:石川達給氏
通算成績:33戦4勝(うち海外4戦0勝)

主な勝ち鞍
2017年 菊花賞 (GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
3位:キセキ(17,575票)

1^位 **ディープインパクト** 23,225票



2005年の優勝馬。単勝オッズ1.0倍の圧倒的人気の中、直線で鋭い末脚を見せ勝利。シンボリルドルフ以来2頭目、21年ぶりとなる無敗の三冠を達成した。

2^位 **コントレイル** 18,473票



2020年の優勝馬で、最後の直線で早め先頭からアリストテレスの強襲を最後まで凌ぎ切って勝利した。父ディープインパクトと同じ無敗での三冠達成であった。

4^位 **ナリタブライアン** 13,884票



“シャドーロールの怪物”と呼ばれた1994年の優勝馬。本競走では2着馬に7馬身差をつけての圧倒的勝利で、史上5頭目の三冠馬となった。

5^位 **オルフェーヴル** 13,210票



2011年の優勝馬。レースでは最後の3コーナーから徐々に進出を開始すると、直線では独走状態となりそのままゴールした。史上7頭目の三冠馬。



特設サイト

同一の競走馬が複数のレースで1位となった場合、その競走馬は最も多く票を獲得したレースの「メモリアルヒーロー」といたします。その他のレースにつきましては、2位以下となった競走馬から得票数の多い順に繰り上げとなります。(同一の競走馬が複数レースの「メモリアルヒーロー」となることはありません。)

❖2023 Winner❖
ドゥレツァ

馬主:有限会社 キャロットファーム
生産:安平・ノーザンファーム
騎手:C.ルメール
調教師:尾関知人



菊花賞

その大輪は強き者の証

菊花賞とは

本競走は、イギリスの『セントレジャー』に範をとり、1938年に『京都農林省賞典四歳呼馬競走』として創設された重賞競走。1948年より現在の名称となった。『皐月賞』、『東京優駿(日本ダービー)』に続く3歳クラシック三冠の最終関門。本競走は、「最も強い馬が勝つ」と言われており、3,000^mの距離を乗り切るスピードとスタミナを兼ね備えた馬に栄冠が輝く。

菊花は、菊の花の意。菊は、キク科キク属の多年草で、世界中に1万種以上あると言われている。色や形は種類によって多岐にわたり、観賞用だけでなく食用としても用いられる。花言葉は「高貴」「高尚」。



2022年優勝馬:アスクビクターモア



2021年優勝馬:タイトルホルダー

菊花賞アラカルト

❖最多勝調教師❖

尾形藤吉

1938年テツモン

1943年クリフジ

1953年ハクリヨウ

1959年ハククラマ

1963年グレートヨルカ



1963年グレートヨルカ

❖最多勝騎手❖武豊

1988年スーパークリーク、1996年ダンスインザダーク、
2000年エアシャカール、2005年ディーブインパクト、
2019年ワールドプレミア

❖最多勝利種牡馬❖ディーブインパクト

2016年サトノダイヤモンド、2018年フィエルマン、
2019年ワールドプレミア、2020年コントレイル、
2022年アスクビクターモア

❖レースレコード❖3分01秒0

2014年トーホウジャッカル

❖最高払戻金額(単勝)❖

5,250円

1976年グリーングラス

21頭中12番人気

❖最大着差❖大差

1943年クリフジ

❖最小着差❖ハナ

2022年アスクビクターモアなど6回



1976年グリーングラス

JRA70年と菊花賞 そのあゆみ

1964 10th Anniversary



第25回菊花賞 優勝馬 シンザン

1974 20th Anniversary



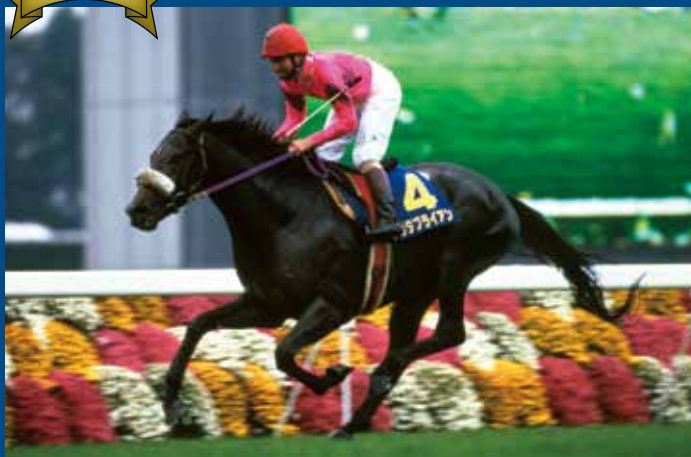
第35回菊花賞 優勝馬 キタノカチドキ

1984 30th Anniversary



第45回菊花賞 優勝馬 シンボリルドルフ

1994 40th Anniversary



第55回菊花賞 優勝馬 ナリタブライアン

2004 50th Anniversary



第65回菊花賞 優勝馬 デルタブルース

2014 60th Anniversary



第75回菊花賞 優勝馬 トーホウジャッカル

2024 JRA 70th Anniversary

10月20日(日) 15時40分発走

第85回 菊花賞(GI)

京都競馬場 3000m(芝・右・外) 3歳 牡・牝 除未出走馬および未勝利馬

未来へ、走り続ける。

70th
ANNIVERSARY